

# 会 議 録

## 1 会議名

令和6年度第1回名立区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1 報告事項（公開）

（1）自主的審議案件の経過について

### 2 協議事項（公開）

（1）4年間の活動の総括について

### 3 その他事項（公開）

## 3 開催日時

令和6年4月25日（木）午後6時30分から午後7時20分まで

## 4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

## 5 傍聴人の数

0名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、高宮秀博、竹内隆、徳田幸一、中野祐、  
二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：桐木所長、沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、塚田市民生活・  
福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、木村地域振興班長

## 8 発言の内容

### 【木村班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 原田会長に議長を依頼する。

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶
- ・人事異動により、総合事務所の体制が変わったので、職員から挨拶する。

【各職員】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

- ・会議録の確認者：二宮委員、畑委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・次第2、報告事項（1）自主的審議案件の経過について事務局に説明を求める。

【沢田次長】

- ・資料 No. 1 に基づき説明

【原田会長】

- ・資料の詳細については、ご覧いただいているとおりだが、こちらの資料を提示しながら、農林水産部長と話をした。
- ・これまで私たちが協議してきた経緯を丁寧に確認していただき、なんとかバックアップしていただけるという方向で話し合いをした。
- ・具体的な利活用案は今年度からの協議となるが、補助金等を活用しながら計画を立てていきたいという話もあった。
- ・私としては、非常に良い感触で話をさせていただくことができたと思っている。
- ・この件について、質問等があれば発言してほしい。

【徳田委員】

- ・資料 No. 1 のタイトルは、魅力ある名立を創造する「ろばた館」の利活用（案）となっているが、この（案）は外れないのか。

#### 【木村班長】

- ・地域協議会から市に対する提案であるため、(案)は外れない。

#### 【原田会長】

- ・他に意見がないようなので、報告事項(1)自主的審議案件の経過については以上とし、次に次第3、協議事項(1)4年間の活動の総括について、協議を行う。
- ・先ほどの挨拶でも話したが、第5期委員で行う地域協議会は本日が最後となる。再任される方もいると思うが、本日はこの4年間を振り返り、次期委員へ伝えたいことがあれば提案していただきたいと思う。また、4年間の感想でも構わないので、全委員からお話しいただきたい。
- ・はじめに、私からお話しする。この4年間、委員の皆さんに支えていただき、会長の職を遂行することができ、感謝している。
- ・委員の皆さんは、それぞれの地区でも様々な活動をされていると思う。その中で、考えたことや思ったことがあれば、これからも地域協議会に伝えていただきたい。

#### 【高宮副会長】

- ・会長をはじめ、皆さんの協力があり、副会長の職を務めることができたと思っている。私はこれで委員を退任するが、同じ地区から2名が次期委員になると聞いている。今後はその2名へしっかり引き継ぎを行いたいと思っている。

#### 【小林委員】

- ・委員になったと同時に新型コロナウイルスの影響で会議の形や、様々な常識が変化していった。
- ・私たちの年代の考えも段々と古くなっていき、地域協議会にはもっと若い人の参画が必要だと感じる4年間であった。

#### 【竹内委員】

- ・小林委員が言われたように、30代や40代といった、20年後に責任を持てる世代を中心として、これからの名立を考えていってほしいと思っている。
- ・今、名立区が直面している問題として、人口減少や少子高齢化がある。地域協議会でもそこに焦点を当てて、将来の名立を考えていきたいと思っていたが、なかなか議論が進まなかった。その中でもろばた館の利活用に関する協議では、実際に活動する団体の皆さんと何度も話し合いを行い、地域の声を反映させた利活用案が完成

したことは成果の一つだと思う。

- ・地域協議会は公開会議ということもあり、どうしてもかしこまった雰囲気があり、なかなか和気あいあいと本音で話すことができなかった。これからは、若い世代も一緒になり、本音で深い議論ができれば、もっと良くなると思う。

#### 【中野委員】

- ・私にとっては初めての経験で、分からないことばかりであったが、自分も勉強するという姿勢で参加してきた。
- ・名立区は年々人口が減少し、子どもも少なくなり、少し先の未来を考えると不安になることが多い。実際に、私は長年県外で勤めていたが、退職を機に名立区に帰るのを少しためらうほどであった。
- ・今の時点で結論は分からないが、地域協議会で協議したことが少しでも名立区の課題解決につながればよいと思っている。

#### 【畑委員】

- ・4年間を通して、力になれないことが多く、逆に自分が勉強することの方が多かったと感じている。
- ・地域協議会委員として、地域の様々な会議に出席する機会が何度かあったが、どの会議も年々出席者が減り、昔より盛り上がりがないと感じた。少しずつでも名立区に活気が戻るよう、これからも取り組んでいきたいと思っている。

#### 【三浦委員】

- ・私は4期16年という長い期間、地域協議会委員を務めた。会議では厳しい意見も沢山言ったし、その点で皆さんにご迷惑をおかけした場面もあったかもしれない。
- ・当初は市からの諮問事項が多い印象であったが、年々と件数が減り、自主的審議事項に重点を置くようになったと思う。
- ・自主的審議事項にかける時間は多くなったが、協議会として議論を深めるということころまではできなかったと思う。
- ・その中でも、地域協議会で「高齢者福祉の推進」について議論を重ね、総合事務所と一体的になって取り組んだ結果、高齢者福祉施設の設置につなげることができたことは地域協議会の成果の一つだと思う。
- ・市町村合併からもうすぐ20年が経過し、地域協議会のあり方も見直そうとしてい

るようだが、その議論がなかなか地元伝わってこない。

- ・今回の改選では、地域協議会委員の公募が非常に少なかったと新聞でも報道されているが、その要因の一つとして、市に意見書を提出しても、その回答が年々希薄になり、意見書を提出しただけで終わってしまい、その後の地域の活性化や暮らしやすさにつながらないということがあると私は思っている。
- ・若い人や女性など、これからのまちづくりを担う人たちの意見を聞くことは必要だが、地域協議会として出した意見を市が真摯に受け止め、しっかりとした回答を返すことが必要である。
- ・また、今回の市議会選挙で市議会議員が出なかった空白の地区の意見をどうやって吸い上げるかも重要だと思う。
- ・私は今期で退任するが、次期委員の皆さんに期待しているし、今後はNPO法人まちづくり未来ネット・名立の立場で名立の地域づくりに関わっていくので、今後も地域協議会と連携、協力していきたい。

#### 【二宮委員】

- ・2期8年間を通して、地域活動支援事業には問題点があると思っていたので、地域独自の予算事業に期待をしていたが、蓋を開けてみると、時間がない中で制度設計され、使いにくい部分がある。また、地域活動支援事業を活用していた地域の小さな団体は、財源がないために地域独自の予算事業を活用できない事例があり、もっと良いやり方があったのではないかと感じている。
- ・名立区の自主的審議事項であった「ろばた館の存続について」は、ろばた館はいよいよ今年度末で温浴機能と食堂機能が廃止となり、これまでに様々な団体から、ろばた館を守ってほしいという声を聞いていたのに、それを守れなかったことが心残りである。
- ・その後の「ろばた館の利活用について」では、名立区内の活動団体の皆さんから沢山の意見を伺うことができ、とても勉強になった。
- ・来月には第6期の地域協議会がスタートすると思うが、新しい委員に対しては、冊子やマニュアルを配るだけでなく、丁寧な説明や研修会を行ってほしいと思う。
- ・また、3月に行った活動報告会では、多くの子育て世代から参加していただき、様々な意見を聞くことができ、本当に良かったと思う。

- ・名立区の少子化については、宝田小学校の10周年記念式典を行った頃は、生徒が120人以上いたが、現在はその半数近くにまで減ってしまった。その対策のひとつとして、空き家を活用して子育て世代が移住してくれるような仕組みを検討したいと思っている。

#### 【徳田委員】

- ・私は3期12年間務めた。名立区だけの問題ではないが、地域協議会委員を公募してもなり手がいない。三浦委員が言われたように原因は様々あると思うが、もっと若年層への発信が必要だと考えている。
- ・地域協議会に限らず60代や70代が主体の会議が多いが、まちづくりにはもっと若手のアイデアが必要だと思う。
- ・私の任期のうち前半は、交通や福祉など、いくつかの分野に分かれて、分科会を中心に、活発に活動した記憶がある。
- ・最近各新聞で地域協議会の特集記事をよく目にするが、どこの区も同じような悩みを抱えているように感じる。三浦委員も話していたが、地域協議会からの意見書に対してもう少し中身の濃い回答がほしかったと思う。また、地域協議会は様々な協議をするが、それを実行するだけの権利や権限がないことは残念だと思う。すぐに改善はされないと思うが、少しずつでも改善されることを願っている。
- ・私が委員を務めた12年間で、少子化等の影響もあり、名立区の主要な施設が次々と廃止された。ゲートボール場やテニスコートがなくなったことで、高齢者や若者の活動拠点がなくなり、その跡地は草が生え、寂しいまちになったと感じている。
- ・そんな中で、活力ある名立区をつくるにはどうしたらよいかをこれからも考えていきたい。

#### 【大門委員】

- ・4年前、コロナ禍の中で始まった地域協議会だが、何をしたらよいかを模索しながら終わってしまったように思う。
- ・少子高齢化が進む名立区をどうしたらよいか、答えが出ない問題に向き合っていかなければいけないのは、本当に難しいことだと思う。次期委員へ伝えられることは伝え、名立区の今後を託したいと思う。
- ・皆さんが言われるように、まちづくりを考えるには、若い世代の意見が必要だと思う。

うが、地域協議会をはじめ、どの団体も若い世代の参加が少なく苦勞している。もっと若い世代にPRしていくことが必要だと思う。

#### 【石井委員】

- ・私は行政職員だったこともあり、正直に言うと、4年前は地域協議会委員になることに少し抵抗があった。しかし、上名立地区に委員がいないということで、委員となり4年間務めた。
- ・ろばた館は上名立地区にある施設であり、建設当時は設計段階から携わっていたので、特に思い出があった。建設当時の目的が達成できないような状況の中で、ついに温浴機能と食堂機能廃止の方向性が示された。委員として、地域の皆さんの意見をお聞きしながら、なんとか利活用案ができ、ろばた館を活用して地域を活性化していこうという方向性が見えてきた。
- ・ただ、話し合いはまとまっても実行できないと意味がない。可能であれば、「ろばた館活性化協議会」のような実働団体をつくり、計画的に進めていくことがよいと思う。

#### 【原田会長】

- ・皆さんからお話を伺う中で、次期委員へ引き継ぎたいことも見えてきた。地域協議会は市の条例に基づいた会議であるため、期待がある一方で諦めがあるのも事実だと思う。しかし、地域協議会で話したことに全く意味がないとは思っていないし、ここで協議したことは何らかの形で市や地域に伝わっているものだと信じている。
- ・本日皆さんからお話しいただいたことは、会議録等を通して、次期委員へ伝える。
- ・最後に全体を通して質問等があれば発言してほしい。

#### 【二宮委員】

- ・次期委員の氏名等はいつ公表になるのか。

#### 【木村班長】

- ・新委員の氏名等については、ちょうど本日公表となったため、氏名をお伝えする。また、新委員の皆さんには昨日に文書を発送したので、明日には届くと思う。
- ・委員12名のうち、継続される方が5名となる。
- ・名立区の現在の委員の平均年齢は67歳、次期委員の平均年齢は58歳なので、10歳ほど若くなった。また、子育て中の方も何名かいるので、新たな視点で議論が

できるのではないかと思う。

**【原田会長】**

- ・最後に次第4、その他事項について、皆さんから何かあるか。

**【各委員】**

- ・特になし

**【原田会長】**

- ・事務局から何かあるか。

**【木村班長】**

- ・今期委員による地域協議会は本日が最後となる。次回の会議は新しい委員で開催するが、開催日は調整し、後日お知らせする。
- ・新委員の任命書交付式について、5月8日を予定しているが、詳細は昨日に郵送した文書でご確認いただきたい。

**【高宮副会長】**

- ・閉会の挨拶

**【原田会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 5504)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。